

ホイクマ通信



第24号

新年度の慌ただしさもひと段落し、梅雨が明ければ水遊びに運動会など、さまざまな活動を計画している頃ではないでしょうか♪楽しい思い出を作るためにも、暑さに負けない体づくりをしていきたいですね。

さて、いつもアンケートへのご回答ありがとうございます！

他の保育園での取り組みや子どもと関わる工夫など、これからの保育の参考にしてみてください☆

ホイクマ通信（23号） みんなのアンケート 結果発表

《失敗から学んだ工夫と対策》

「安全管理」

- ☆複数の職員で見守っている時ほど、お互いが「見てくれているだろう」と思い込んでしまいヒヤッとする事象が多い。そのため、見守る場所や動きの役割分担を行い、子どもや職員の動きをその都度こまめに伝え合うようにしている。子どもが遊ぶ場所を変えた際やトイレ等で部屋を移動した際に、「〇〇君が◇◇に移動しました。△△先生お願いします」などと声をかけあっている。
- ☆2歳児2人が手を繋いで歩いていた際、1人が転び、もう1人も引っ張られる形で転倒…。その後、園全体で散歩時のルールやコースについて再検討した。手を繋ぐ子どもの組み合わせや、配慮が必要な場所では子ども同士ではなく保育者と手を繋ぐ、年齢や状況に応じて個々で歩けるようにするなど、様々な工夫や対策を講じて安全に活動できるよう改善した。
- ☆ドアを開けた時、近くに子どもがいることが分からず指を挟みそうになってしまった。そのため、開ける時は必ず声を掛けて近くにいる子どもを確認し、必要に応じて注意を促しながら出入りするようにしている。

「保護者対応」

保護者の名前を呼んだつもりが、違う保護者の名前を呼んでしまった。名前を間違えるということは大変失礼であり、また信頼関係にも関わるためとても反省した。それ以降、名前を呼ぶ時には一呼吸置いてから、名前を確認して呼び掛けるなどしている。

主任の先生から、保育中の職員の立ち位置について「子ども全体が見渡せて、何かあった時に駆け寄れる場所が良い」と教えて頂いた。指導を受けた内容は忘れないようその都度メモをし、必要なことを見返しながら保育に入るよう心掛けている。



《片付け時の工夫》

「声掛け・呼び掛け」、「整頓」の工夫

- ◇「お片付け〜♪」の歌や音楽で片付けに誘い、子どもと共に片付けをする。また、ごっこ遊びをしている時は遊びの延長で片付けが出来るよう配慮する。
- ◇全体に伝わるように片付けの声掛けした上で、子ども1人1人に対しても片付けを呼びかけて行動に移せるようにする。
- ◇次に行う活動を伝え、子どもが見通しを持って片付けに取り組めるようにする。
- ◇子ども自ら片付けが出来た時にはOKサインやグッドジョブサインを出して褒めたり、「かっこいいね」「さすがだね」等とやる気になるような声掛けをする。
- ◇道具やおもちゃの片付け場所に写真や目印を貼っておく。

こんな工夫もありました♡

乳児クラスでは、時計や数字が読めなくても片付けの時間が分かるように、時計の数字に苺のシールを貼っています。「時計の針が苺の所にきたらお片付けだよ。」と声をかけることで、乳児さんでも見通しを持って活動できるようにしています。



「楽しくゲーム感覚でお片付け」

ブロックを片付ける時に、「赤色のブロックを集めてね！」と色別での片付けや、「ブルドーザーになって集めてきてね！」など、ゲーム感覚で楽しく行えるように工夫している。

「気持ちの切り替え方の工夫」

ブロックや粘土など、制作途中のものは壊さず残すことで『次の時に続きが作れる！』『今日はここまで作れた！』という安心感や達成感を大切に、気持ちを切り替えて片付けが行えるようにしている。

みなさんがさまざまな失敗から多くを学び、スキルアップされている様子や、片付けについても、子ども自ら気持ちを切り替えて取り組めるようにと日々試行錯誤して保育されている様子が伝わってきました☆

正解は1つではないため、他の方の工夫も参考にしながらご自身の保育に取り入れてみてくださいね！

※紙面の都合上、アンケートの内容を一部省略・抜粋・編集させていただきました。何卒ご了承ください。

— 子どもの主体性をのばすための工夫 —



近頃は、子どもの主体性を大切にしたい保育が重要視されていますね。子どもが自ら考えて行動できるようにと、みなさんも日々の保育環境を整えているのではないのでしょうか。

例えば、「お絵描き」「おもちゃごと」「ブロック」など自由に選んで遊べるようにコーナー保育を設定したり、子どもと一緒に主活動の内容を考えたり、「挑戦したい！」という気持ちを大切に、難しいかな？と思うことでも挑戦できる機会を設けるなど、子どもの想いを尊重するための工夫はさまざまです。保育に正解はありませんが、子どもたちが自ら遊びや活動に夢中になれる環境をつくり、それを保育者が見守っていくことが、子どもの主体性をのばす保育に繋がっていくのではないかと思います。

そこで、「子どもの主体性をのばすために、こんな保育をしています！」「こういう工夫をしたら、子どもたちの様子がこんな風になりました！」などといった、工夫やエピソードがあればお聞かせください☆



保育の魅力とやりがい ♥

保育所では、パワフルな子どもたちと一日を過ごしなが、保育計画などの書類を作成したり、掃除や消毒などの環境整備をしたりと、一日があっという間に過ぎていくのではないのでしょうか。そんな忙しさの中でも、やりがいや充実感が大きいからこそ頑張れる仕事でもありますね！

ホイクマは、子どもの成長を感じたときや、その成長を保護者と共に喜び合えた時、他の職員たちと協力し合い行事をやり終えた時にとてもやりがいを感じます！また、自分が考えた遊びを子どもたちが全力で楽しんでくれた時や素敵な笑顔を見せてくれた時には、「また次も頑張ろう！」と元気をもらいます◎

みなさんは、どんな時に保育のやりがいや魅力を感じますか？

実際にみなさんが体験したエピソードなども交えて、「保育の魅力とやりがい」について教えてください◎



～ 暑い夏を乗り切ろう！！ ～ 大人も子どもも熱中症予防が大切 ☆

大人よりも活動量が多く、また地面に近い場所にいる子どもにとって、炎天下での活動は熱中症の危険が高まります。そこで、熱中症予防のための生活の指針となる「暑さ指数(WBGT)」を活用しましょう！活動前にその日の指数を確認し、必要に応じて無理のない活動に変更することも大切です。暑さ指数は環境省のサイトから確認できます☆

●何よりも大事！こまめな水分補給を忘れずに！

脱水症状を防ぐため水分補給の時間を決めましょう。コップに注いだ分は飲み切るなど、子どもの発達に応じて必要な工夫や援助、声掛けを行いましょう。落ち着いて飲める環境を整えることも大切です。

●室内遊び・過ごし方の工夫

戸外活動が十分にできない分、室内でも体力を発散できるような運動遊びがオススメです。ただし涼しい室内で汗をかくと体が冷えるため、室温の調整は必須です。

●戸外遊びでの配慮・夏の遊び♪

テラスや窓辺、遊具などに日よけを設置すると、直射日光を防ぎ、暑さが和らぎます。しかし遊具が熱くなりすぎてやけどに繋がる恐れがあるため、使用前には必ず触れて確認しましょう。日陰が多い近場の公園への散歩や、沐浴や水遊びなど、暑さを和らげる活動を取り入れましょう！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

同封のアンケート用紙にぜひご意見やご感想をお寄せください。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HPでは、「保育所への就職支援（マッチング）」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。併せてお楽しみください。

こども家庭庁／こども基本法について

こどもや若者が自分らしく成長できる「こどもまんなか社会」を目指して『こども家庭庁』が2023年4月1日に創設されました。また全てのこどもや若者が、将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現するために、子どもの権利などを定めた「こども基本法」も同日に施行されました！！

こども家庭庁では、こども基本法について分かりやすく説明した「こども基本法とは？」という冊子や、子どもでも理解しやすい動画を作成しています。とても分かりやすく見やすいのでこの機会にぜひご覧ください♪

環境省
熱中症予防情報サイト



こども家庭庁 HP



センターHP



東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

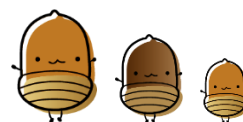
保育人材コーディネーターへの相談は平日 9:00～17:30

（受付 9:00～11:30 / 13:00～17:00）



Twitter アカウント
@hoikuma

ホイクマ通信



第25号



まだ暑い日もありますが、少しずつ秋の気配を感じられるようになってきましたね！これからの時期は、運動会や遠足、発表会や作品展などの行事に向けた活動も多くなる頃かと思います。準備は大変ですが、保育者も一緒に活動を楽しみながら、子どもたちの成長を改めて感じられる機会にしていきたいですね♪

さて、今回も皆さまからお寄せいただいたお声をご紹介します♪

ホイクマ通信（24号） みんなのアンケート 結果発表！

《子どもの主体性をのばすための工夫》

♪環境設定♪

- ◆好きな活動を自ら選択して遊び込むことができるよう、玩具や用具の用意や、場所を整える。
- ◆子どもの意見や興味・関心の広がりなどに応じて、その都度子どもと相談しながら、玩具や用具の入れ替えや追加等をして、変化させていく。

♪保育者の関わり♪

- ◆最低限のルールや用具を使う際に必要な安全面での約束などは必要に応じて伝えた上で、遊び方・使い方・過ごし方などを子どもが考えながら行うことを大切にする。
- ◆自由遊びの時間は特に「これで遊ぼう！」などと職員からの声掛けや誘導はせず、子どものやりたい気持ちや、集中に合わせて、まずは見守る姿勢を大切にする。
- ◆けんかの際はすぐに仲裁をせず、まずは動向を見守る。保育者が良し悪しを判断して伝えるのではなく、子どもの気持ちを聞きながら、どうしたら良いかを一緒に考えていく。

「主体性を大切にしたい保育って何だろう？」と試行錯誤しながら実践されている方が多い印象でした。まずは子どもの姿をよく観察することを意識しながら、必要な関わりを考えていけると良いですね♡



《あなたが思う保育の魅力とやりがい》

◇ここが魅力！◇

- ♡子どもの成長（ハイハイで入園した子が初めて立った瞬間、歩き出した瞬間など）に立ち会えること。
- ♡言葉でやりとりができるようになり、自分の名前を呼んでくれたり、「せんせいだいすき！」と言ってくれたりすること。
- ♡子どもたちの生き生きとした姿や表情を間近で見られること。
- ♡手を広げると子どもたちが駆け寄って抱きつきに来てくれること。



「子どもの可愛い姿を見られること！」というお答えがとても多かったです♪

◇やりがいを感じる瞬間◇

- ♡自分が提案した遊びを「またやりたい！」と言ってくれたとき。
- ♡自分の得意なこと（ピアノ等）が活かされたとき。
- ♡保護者からお礼の言葉をもらったとき。
- ♡卒園した子どものその後の成長に触れられたとき。
- ♡子どもと信頼関係が築けて、自分を指名して甘えてくれたり、話してくれたりするようになったとき。
- ♡自分の援助や声掛けによって、できなかったことができるようになっていく姿を見られたとき。

お忙しい中たくさんのご意見やエピソードをお寄せ頂き、ありがとうございます♪
主体性を大切にしたい保育を考えることは、日頃の保育を振り返るきっかけにも繋がったのではないのでしょうか。また、これから保育に携わることを考えている方には、子どもを主体とした保育の参考になれば嬉しいです。

保育の仕事は子どもとの関わりなどで悩むことも多いですが、その分魅力ややりがいも多い仕事です♪子どもの笑顔溢れる環境を大切にしていきたいですね☆

子どもに人気の出し物

誕生会や行事などの特別な活動の際に、日ごろ行う手遊びなどとは異なる『特別な出し物』を行うことがあるかと思えます◎ホイクマも誕生会の時には、簡単な手品や、職員数名で行うペープサートにパネルシアターなどの出し物をしていました！特に手品では、目をキラキラとさせて熱中して見入っている子どもたちの姿がとても印象に残っています♪

さて、皆さんの園で子どもに人気の出し物がありますか？「行事の時にはいつもこれをやっています！」「子どもたちの反応がよかった出し物はこれです！」「この絵本を題材にして作った〇〇が人気でした！」など、**子どもに人気の出し物を教えてください♪**
「次はこんな出し物に挑戦してみたいです！」という**出し物のアイデア**もあればお聞かせください♪

配慮が必要な子どもへの対応

障がいの有無に関わらず、保育の中で個別に配慮が必要なお子さんと関わる場面は多いかと思えます。例えば、耳からよりも目からの方が情報を理解しやすい子には、絵カード等を使って活動の流れを伝えてみたり、気持ちを落ち着ける場所として、一人になれるスペースを作ってみたりなど、個々の特性に応じて、さまざまな工夫をされているのではないのでしょうか。一人一人により良い保育を行うことを目指して試行錯誤を重ねることは、自分の保育力を高めることにも繋がりますね。また、関わりを通して子どもの成長を実感できた時の喜びは、大きなものだと感じます。そこで！ささいな対応でも構いませんので、皆さんが実践されてきた「こういう場面や状況の時に、こんな対応をしました/しています」といった「**配慮が必要な子どもへの対応方法**」をぜひ教えてください♪

【保育士就職支援研修・就職相談会】 【保育士就職支援セミナー】

ブランクが長くて不安...
保育の経験が無くて不安...

もう一度保育を学びたい！

身近な地域で保育の仕事を見つけない！

そんな方々を対象にした【就職支援研修・就職相談会】、【就職支援セミナー】を開催します！

【研修・相談会】

令和4年度 参加者の感想（一部抜粋）

【セミナー】

- ★保育者、園、子どもたちの実態について、映像と資料の両方から理解を深めることができた。
- ★面接ではなく相談に乗って下さる雰囲気なので、話がしやすかった。
- ★園の方から直接お話を伺えて参考になった。
- ★保育の仕事「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちになった。



- ★講義全体を通して体験しながら学ぶことができ、大変有意義でした。
- ★実習経験がなく不安でしたが、働く姿がイメージできる実践形式の講義もあって自信になりました。
- ★現場に出た時に、自分にできるだろうか？と不安に感じていたことが解消された。
- ★保育園の現状を知ることができてよかった。

申込方法等の詳細はセンターHPに掲載しています！皆様のご参加、ぜひお待ちしております♪

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

同封のアンケート用紙に是非ご意見やご感想をお寄せください。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HPでは、「保育所への就職支援（マッチング）」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。併せてお楽しみください。

センターHP

東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

保育人材コーディネーターへの相談は平日9:00~17:30

(受付9:00~11:30/13:00~17:00)

X (Twitter) アカウント
@hoikuma



ホイクマ通信

第26号



暖かな日差しに春の訪れを感じる季節になりました。卒園や入園、進級の準備で忙しい日々を過ごしていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。新年度を万全に迎えられるよう、体調管理に気を配りながら過ごしたいですね。さて、いつもアンケートにお答えいただきありがとうございます♪皆さんのアンケートが、ご自身の保育を振り返るきっかけ、またこれからの保育の参考になるとうれしいです♡

ホイクマ通信（25号） みんなのアンケート 結果発表！

《子どもに人気の出し物》

- ◆「まあるいたまご」「どんな色が好き」などのスケッチブックシアターが人気です。
- ◆エプロンシアターの「くいしんぼうゴリラ」。子どもたちが喜んで見えています♪
- ◆「おべんとうバス」のパネルシアターに手遊びを加えると、子どもたちも参加できて盛り上がります！
- ◆乳児クラスでは「おおきなかぶ」、ストーリーが分かる幼児クラスでは「シンデレラ」等の職員劇が人気！
- ◆手品が人気♪ペットボトルを使った色水マジックなどで、「ちちんぷいぷい〜」と掛け声を合わせると大盛り上がりです！



♪発達に合わせた出し物の選び方♪

- 乳児
 - ・普段から慣れ親しんでいる絵本や歌や手遊びなど
 - ・繰り返し表現のあるもの
 - ・色や絵が分かりやすいもの 等
- 幼児
 - ・ストーリー性のあるもの
 - ・言葉遊びのできるもの
 - ・子どもが参加できるもの 等



「まあるいたまご」	◆ペープサート
「どんな色が好き」	◆パネルシアター
「おおきなかぶ」	◆エプロンシアター
「おもちゃのチャチャチャ」	◆スケッチブックシアター
「くいしんぼうおばけ」	◆紙皿シアター
「おべんとうバス」	◆職員劇
「3匹のこぶた」 など	◆クイズ など

《配慮が必要な子どもへの対応》

- ◇言葉がけはゆっくり、短く、具体的に、を心がける。
- ◇ネガティブな言葉を使わない、ポジティブな言い方にして安心感を持てるようにする。
- ◇落ち着ける環境を整える。
 - ⇒他の子から離れたところに専用スペースを作る、など。
- ◇活動の見通しが持てるようにする。
 - ⇒「～が終わったら〇〇しようね」などの声掛けに加え、日課の流れを写真や絵で示す。散歩の際も、散歩コースや行く先を写真で見せるなど、理解できるようにしてから出発する。
- ◇子どもの今の姿・状況をよく観察し、気持ちを受け止め寄り添う、信頼関係を育む。
- ◇机の上に不要なものを置かない、ついたて等でスペースを区切ることで、活動に集中できる環境を整える。
- ◇自信が持てるような声掛けを行う。



「一人で抱え込まないことが大切！」同じ方法でもうまくいく時とそうでない時がありますね。対応が難しい時は、違う職員に対応してもらったり、先輩にアドバイスをもらうなど、日頃から職員間や保護者と連携をとりながら、子どもも先生も無理なく過ごせるといいですね！

その時の子どもたちの興味・関心に合わせて組み合わせましょう♪

今回もアンケートへたくさんの回答をいただきありがとうございます！子どもたちに安心して過ごしてほしい、保育園を楽しんでもらいたい！というみなさんの気持ちが伝わってきました・出し物は、上手にやろうとするよりも先生たちが楽しむことが何よりも大事！ですね(*^_^*)これから卒園、進級、新年度と忙しい毎日かと思いますが、保育を通して先生たちも「楽しい！」「うれしい！」をたくさん積み重ねて行きたいですね。



子どもたちが好きな 遊びを教えてください！

保育所での遊びは“楽しい”だけでなく、その中で心身の発達を促したり、ルールや社会性を身につけるなど、目的を持って設定されますね。

子どもたちに楽しく過ごしてほしい！遊びを通して健やかに成長してほしい！そんな思いでさまざまな遊びを思案されているのではないのでしょうか。

一つの遊びが子どもたちのアイデアで形が変化したり、新しいルールが追加されたりと、子どもたちの想像力に驚かされることもありますね。

そこで、みなさんの保育所で子どもたちに人気の遊びを教えてください♪室内遊び・戸外遊びどちらもOK♪

その中で垣間見えた
子どもの様子や成長も
併せて教えてもらえると嬉しいです♪



保護者からいただいたこんな声 エピソード



保育において保護者との連携はとても大切。日々の子どもの様子を伝えあったり、ときに保護者と一緒に考えたり悩んだり、子どもを共に育てるパートナーとして、コミュニケーションは欠かせません。その中で少しずつ保護者との信頼関係を築いていきます。

ホイクマは卒園式で保護者から、「朝からイヤイヤしてなかなか準備ができない日も『ホイクマ先生が待ってるよ〜』と言うとすんなり準備をしてくれて、先生のおかげで毎日元気に通うことができました！」



と言っただけだったことがとてもうれしく今でもその手紙を大切に持っています♡そんなところも保育の仕事の魅力でもありますよね！

そこで、みなさんの心に残っている、保護者からの言葉や、保護者とのエピソードを教えてください♪思い出すとほっこりする、そんなエピソードをお待ちしています(*´▽`*)

令和5年度 保育ミニセミナーレポート

保育の仕事を目指す方や保育の仕事をしている方に向けて、保育現場経験のある保育人材コーディネーターが実施している保育ミニセミナー☆令和5年度は【保育のおしごと入門編】のほか、より実践的内容をお伝えする【保育で使える手遊び入門編】や【子どもの発達に応じた遊び入門編】も実施しました♪今回は、参加者のお声をご紹介します♪



保育で使える手遊び入門編

- ★手遊びをどんなタイミングで導入するのか、またおすすめの手遊びを実践も交えて教えてもらったので、とても勉強になった。
- ★音は多少はずれても先生が楽しむことが一番大切！と言ってもらえて、自信がついた。
- ★現場経験のあるコーディネーターに実践に基づいたお話、アドバイスが聞けてとても良かった。
- ★わかりやすく、楽しく、内容もすぐ現場で使えると思った。



発達に応じた遊び入門編

- ★クラスごと、発達に合わせた遊びの具体例をたくさん教えて頂けて、大変参考になった。
- ★遊びを設定する際のポイントや発達に合わせた遊びに設定のし方がよく分かった。
- ★実際の手作りおもちゃを見て実際に遊んでみるのができ、とても勉強になった。
- ★人数がちょうどよく、コーディネーターや他の参加者さんの経験談が聞けてさまざまな学びがあった。



次回もお楽しみに☆彡

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

同封のアンケート用紙に是非ご意見やご感想をお寄せください。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HPでは、「保育所への就職支援（マッチング）」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。併せてお楽しみください。

センターHP

東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

保育人材コーディネーターへの相談は平日9:00~17:30

(受付9:00~11:30/13:00~17:00)

X (旧 Twitter) アカウント

@hoikuma

